



iwork-pro.jp

コミュニケーション広報ツール

2026

9

アイ・ワーク News

iwork News Vol.41

クリックして
Webサイトへ
アクセス



最高

現実逃避。

三連立神

横一列に並ぶ3つの小島で
この地域の守り神として
崇められています。

Nishikomi

皆さん、夏季休暇はいかがお過ごしでしたか？

いまだに休みボケと戦っている私は、奄美大島の最西端にある「西古見（にしこみ）」という小さな集落で、のんびりとした時間を過ごしてきました。

そこはあまりにも美しく、そして心地よくて……これは皆さんにも紹介せずにはいられない！というわけで今回は、しばし私の土産話にお付き合いください。

西古見には、妻の祖母の家があります。今回はそのリフォーム完成に合わせて、親族5人で遊びに行ってきました。

実は、危うく台風に旅行を邪魔されそうになったのですが、親族の中に絶大な力を持つ「晴れ女」がいたおかげで、なんとか無事に到着。いつもなら猛威をふるう「雨男」の私も、見事に完敗です（嬉しい敗北です）。

さて、この西古見、驚くほど観光客がいません。出会うのは集落に暮らすおばあさんやおじいさんばかり（それがいい）。観光地に住む者としては、なんとも羨ましい環境です。

なぜ、こんなに観光客が少ないのか？理由はいたってシンプル。奄美空港から車で約2時間半かかるからです。島の最西端に位置する西古見は、奄美大島の中心地・名瀬に暮らす地元の方でさえ「西古見は遠い」と言うほど。まさに「陸の孤島」と呼ばれるのも納得ですね。

でも、だからこそいい。

人が少なく、開発もされていないからこそ、どこでしか出会えない風景や、ここ

でしか感じられない時間があります。

楽しみにしていた南国の海では、人生初の「プライベートビーチ」を体験。誰もいない海を独占して、ちよっとだけセレブ気分を味わってきました。

最高の現実逃避です。

今回の旅では地元の方々の優しさにもたくさん触れることができました。陽気でキュートなおばあさんや、今も現役で海に潜るおじいさん。昔の暮らしや海の話など、聞けば聞くほど興味が尽きません。もしかすると、長生きの秘訣はこの島の暮らしにあるのかもしれないですね。

西古見の人口は20〜30人ほどの小さな集落ですが、最近では都会から移住してきた若い人たちが、キャンプ場や古民家カフェを営むなど、自然だけではなく新しい魅力も少しずつ生まれています。

そして、この旅で一番心に残ったのが、帰る前夜に見た星空。初めて見る天の川と、空いっぱいに広がる満天の星。言葉では表現しきれないほど美しく、「星に手が届きそう」を実感しました。きつと、この景色は一生忘れないと思います。

……と、ここまで書いていたら、

もう行きたくなってきた！

瀬戸内町
公式チャンネル
西古見動画は
こちら



YouTube



土いじりって いいな

週末ガーデニング @ 小さい庭



▲ 6月 アガパンサス、アナベル、エキナセア、サルビア

植えっぱなしでも、生き残る強い子だけ

今年の夏も暑かったですね！
我が家の庭も、朝水をやっても夕方には、
砂漠のように乾いていました。
夏の水やりはしますが、そのほかは気が向いた時だけ、
という、ずぼらガーデニングなので、
生き残るのは強い宿根草だけ。

青い花ばかり
揃えてしまいます



▲ 7月 ルドベキア、ダリア
夏は鮮やかな花も

一日しか咲かない花

これは我が家ではないのですが、
朝ウォーキング中に見つけました！
花の名前はわからないのですが、
1日しか咲かないサボテンの花だそうです。
小さなサボテンの本体の3-4倍ほど10cmくらいの花でした。
翌日には萎れていました。見られた時はラッキーだそうです！



次は何植えよう？
植える場所がない



“糖質捜査官”
WEBディレクター 川出
K.KAWADE